

# 2023年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社ヴィス

東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード：5071

2022年11月11日

# INDEX

- 01 会社概要 COMPANY PROFILE
- 02 2023年3月期 第2四半期連結業績 FY2022 Q2 RESULTS
- 03 成長戦略 GROWTH STRATEGY
- 04 2023年3月期 連結業績予想 FY2022 OUTLOOK
- 05 参考資料 APPENDIX

01

# 会社概要

COMPANY PROFILE



## 役員紹介



1960年大阪府生まれ。大手ディスプレイ・商業空間デザイン会社を経て、1998年ヴィス創業。2004年からデザイナーズオフィス事業をスタートし、現在累計実績は7,000件以上。2020年、東証マザーズ上場。2021年、東証2部指定。2022年、東証スタンダードへ移行。

代表取締役会長  
中村 勇人



1976年大阪府生まれ。2004年デザイナーズオフィス事業立ち上げに際し株式会社ヴィス入社。プロジェクトマネージャー・新卒採用・広報・WEBマーケティング責任者として幅広い業務に対応。2015年より常務取締役。2022年より株式会社ワークデザインテクノロジーズ代表取締役社長を兼任。

代表取締役社長  
金谷 智浩



専務取締役  
大滝 仁実



常務取締役  
矢原 裕一郎

社外取締役  
(監査等委員)  
浜本 亜実

社外取締役  
(常勤監査等委員)  
宇都宮 則夫

社外取締役  
(監査等委員)  
戸出 健次郎

社外取締役  
(監査等委員)  
西村 勇作

# 会社概要



商号	株式会社ヴィス
代表者	代表取締役会長 中村 勇人 代表取締役社長 金谷 智浩
設立年月日	1998年4月13日
本社所在地	大阪府大阪市北区梅田三丁目4番5号
資本金	522百万円 < 2022年9月末現在 >
決算期	3月末日
事業概要	ブランディング事業 コンサルティング・ワークスタイリング事業
発行済株式数	8,207,050株 < 2022年9月末現在 >
社員数	233名(連結) < 2022年9月末現在 >
監査法人	太陽有限責任監査法人
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場

## 事業の始まり

# 空間（環境）を変えることで、人が変わり、会社も変わる

大阪にある町工場との出会いがデザイナーズオフィス事業の始まりです。

はたらく環境を変えたことで、そこではたらく社員が変わり、会社がよくなっていくことを発見しました。

オフィスデザインに秘められた大きな可能性を知ったことが、事業を開始する契機となりました。

BEFORE



AFTER





## クレド

### 同じベクトルを持った強力なメンバー

全15項目からなるクレド（社訓）を共有し、仕事に対しての向き合い方から物事の判断軸、人としてどうあるべきかまで全社員に浸透させています。  
ヴィスメンバーとして同じ想いを共有し文化を醸成していく、  
仲間と同じ考え方を持つことによる共感反応がシナジーを生み出します。



クレド…15項目からなる組織の価値観を決めるヴィスの礎。ヴィスが人を育てる仕組み

## 企業理念（存在意義）

---

### はたらく人々を幸せに。

ヴィスの仕事は、オフィスに笑顔を運ぶこと。

人生において多くの時間を過ごすオフィスという空間に変化をもたらし、はたらく人々を幸せにする。

そして、その一人ひとりの幸せが大きなモチベーションに変わり、企業が成長するエネルギーとなる。

これからも、日本全国および世界中で、はたらく人々がいるすべての場所に笑顔を運びます。





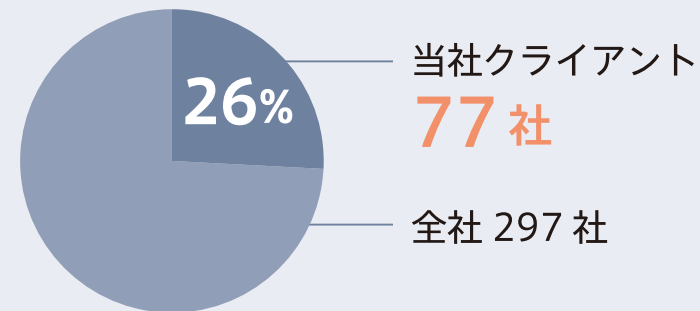
# 企業の成長とヴィス

## はたらく場を通じた企業の成長への貢献

企業が成長し続けるためには、はたらき方、はたらく人への柔軟かつスピード感をもった対応が不可欠です。  
私たちだからできるワークデザインによって、これからも はたらく空間や仕組みを進化させ企業の成長に貢献します。

2019年から2021年の新規IPO企業のうち  
当社クライアント数は **77社**

参考：JPX 上場企業一覧内、新規上場社数のみ（市場替え・Tokyo Pro Market・テクニカル上場除く）



# デザイナーズオフィスの主な実績

上場企業	東証 プライム	 Earth Group アース製薬株式会社    
	東証 グロース	   長谷工 コーポレーション  
	大手グループ企業 高成長企業	    

✦ HENNGE

ビザスク

 Makuake

 free

 Crowd Works

**FM802**  
meet the music on the radio

 **TOYOTA**  
connected

**TOPPAN FORMS**  
SmartNews **F O R I T** 

2022年4月4日現在

# ワークデザイン

## BRANDING



オフィスデザイン



ウェブデザイン



グラフィックデザイン



企業が持つ「想い」や「らしさ」をデザインすることで、CI (コーポレート・アイデンティティ) の確立と企業ブランディングの構築を実現します。

オフィスデザイン、ウェブデザイン、グラフィックデザインを通して、企業が持つVI (ビジュアル・アイデンティティ) と一貫したデザインをワンストップで提供することで企業価値を高めます。

## OFFICE



オフィス物件検索



ワークプレイスサーベイ



レイアウト・デザイン



デザイン家具・什器



コンストラクション



ICT



引越・移転作業



写真・ドローン撮影

## WEB



デザイン制作



HTML・CSS 編集



スマホ対応



ウェブ動画

## GRAPHIC



ロゴデザイン



パンフレット



名刺・封筒



ノベルティ・POP



# ワークデザイン

## CONSULTING



### エンゲージメント向上・組織改善

はたらく一人ひとりの課題を  
可視化する  
組織改善サーベイ「ココエル」



### ワークスペースの可視化

ワークスペース可視化レポート  
「wit (ウィット)」



## WORKSTYLING



### はたらく場の提供

はたらき方をデザインするワークスペース  
「The Place (ザ プレイス)」を運営





02

# 2023年3月期 第2四半期連結業績

FY2022 Q2 RESULTS

## 2023年3月期 第2四半期連結業績サマリー

2022年4月～9月累計

売上高	6,867百万円	前年同期比 134.0%
営業利益	661百万円	前年同期比 166.5%

上半期売上高、営業利益は  
過去最高

大規模案件(1億円以上)の受注  
11件 2,974百万円

※当社は2023年3月期第1四半期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、前年同期実績は単体の数値を用いております。



## 2023年3月期 第2四半期連結業績

**大規模案件(1億円以上)の受注・完工により  
売上高・営業利益ともに前年同期比で大幅に増加**

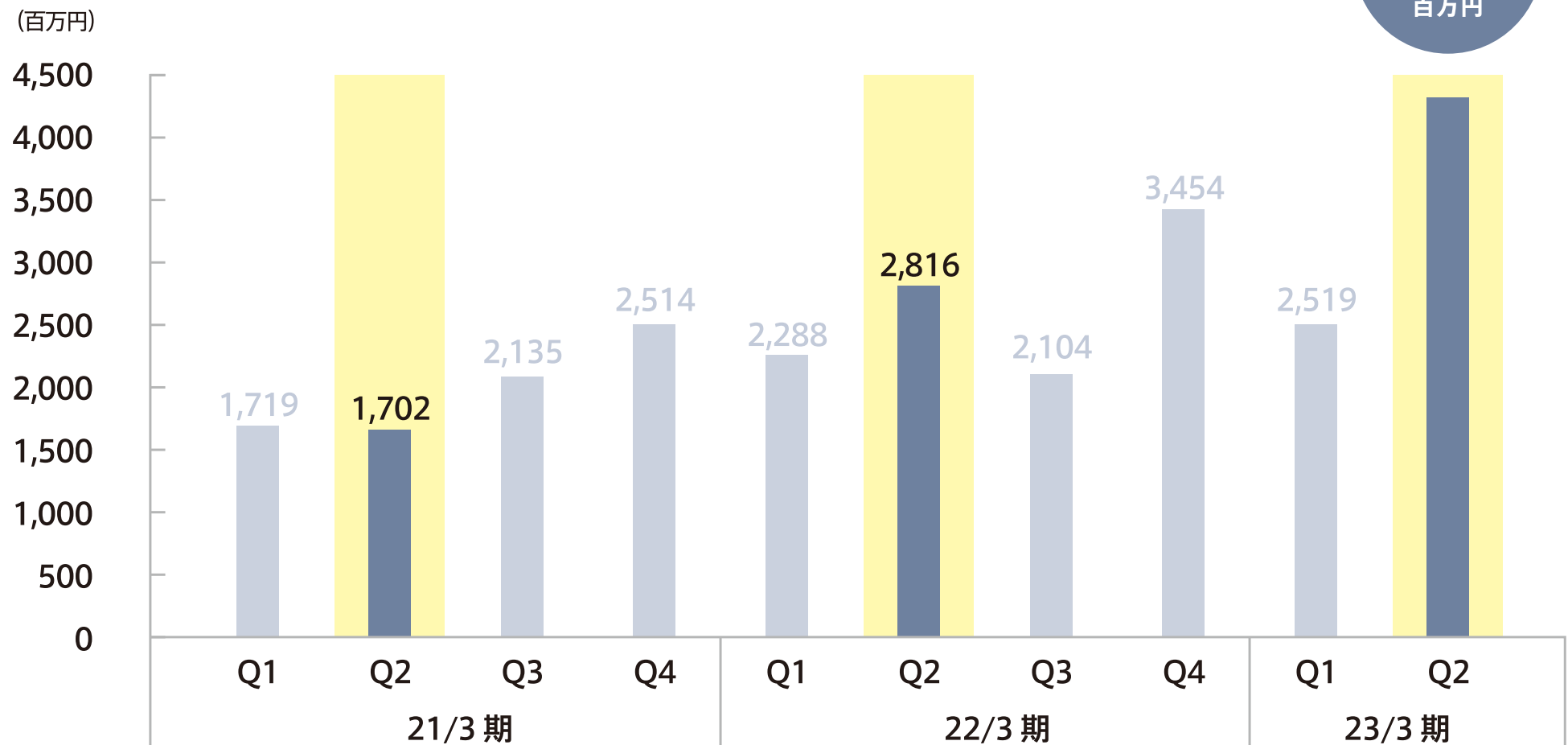
(百万円)

	23/3 Q2	前年同期	前年同期比
売上高	6,867	5,125	134.0%
売上総利益	1,764	1,313	134.3%
営業利益	661	397	166.5%
経常利益	653	398	164.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	436	262	166.4%
EPS (円)	53.16	32.2	165.1%

※当社は2023年3月期第1四半期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、前年同期実績は単体の数値を用いております。

## 売上高推移（四半期）

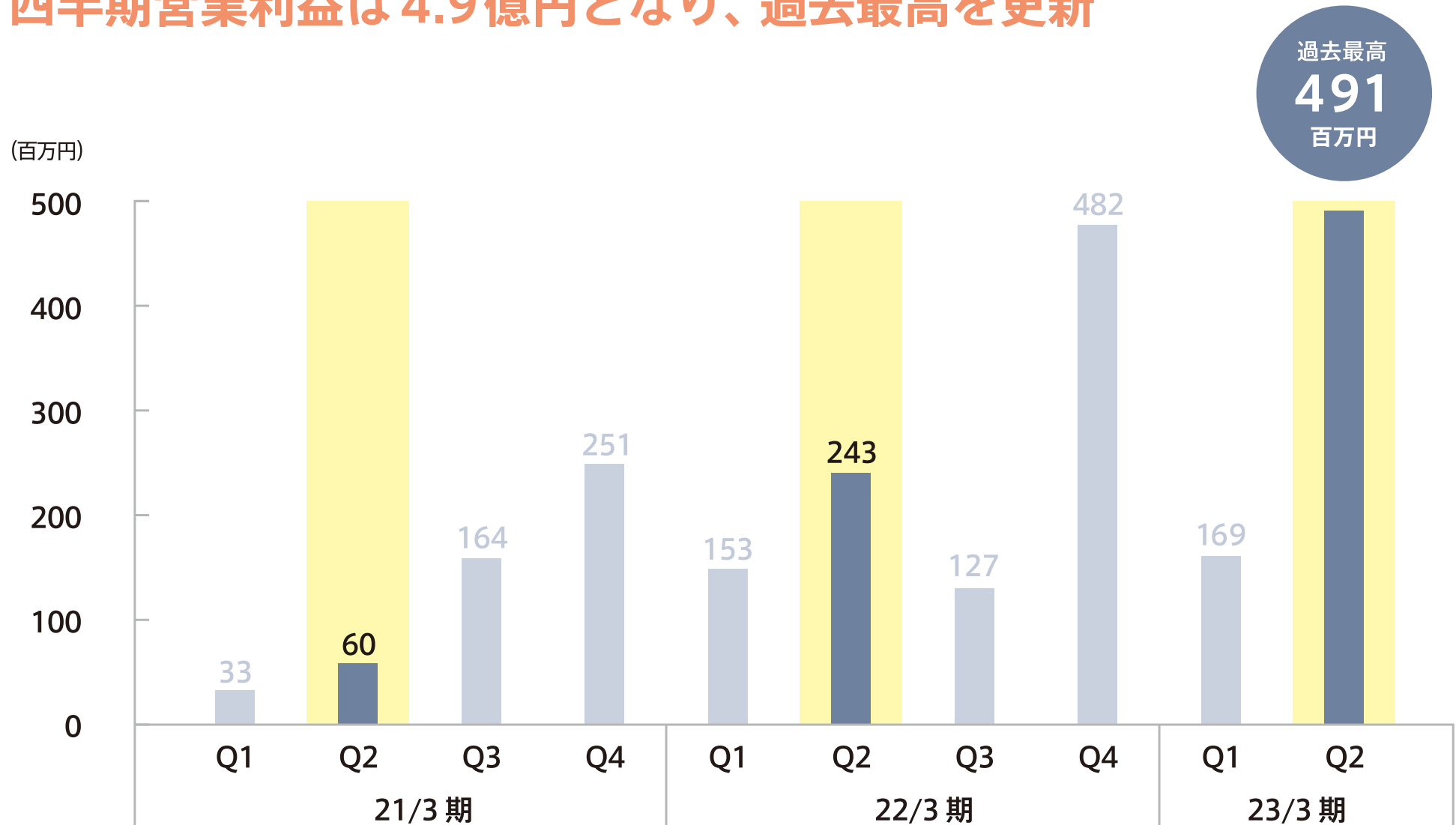
### 大規模案件が完工 四半期売上高は40億円を突破し、過去最高を更新



※当社は2023年3月期第1四半期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期まで単体の数値を用いております。

## 営業利益推移 (四半期)

### 四半期営業利益は4.9億円となり、過去最高を更新

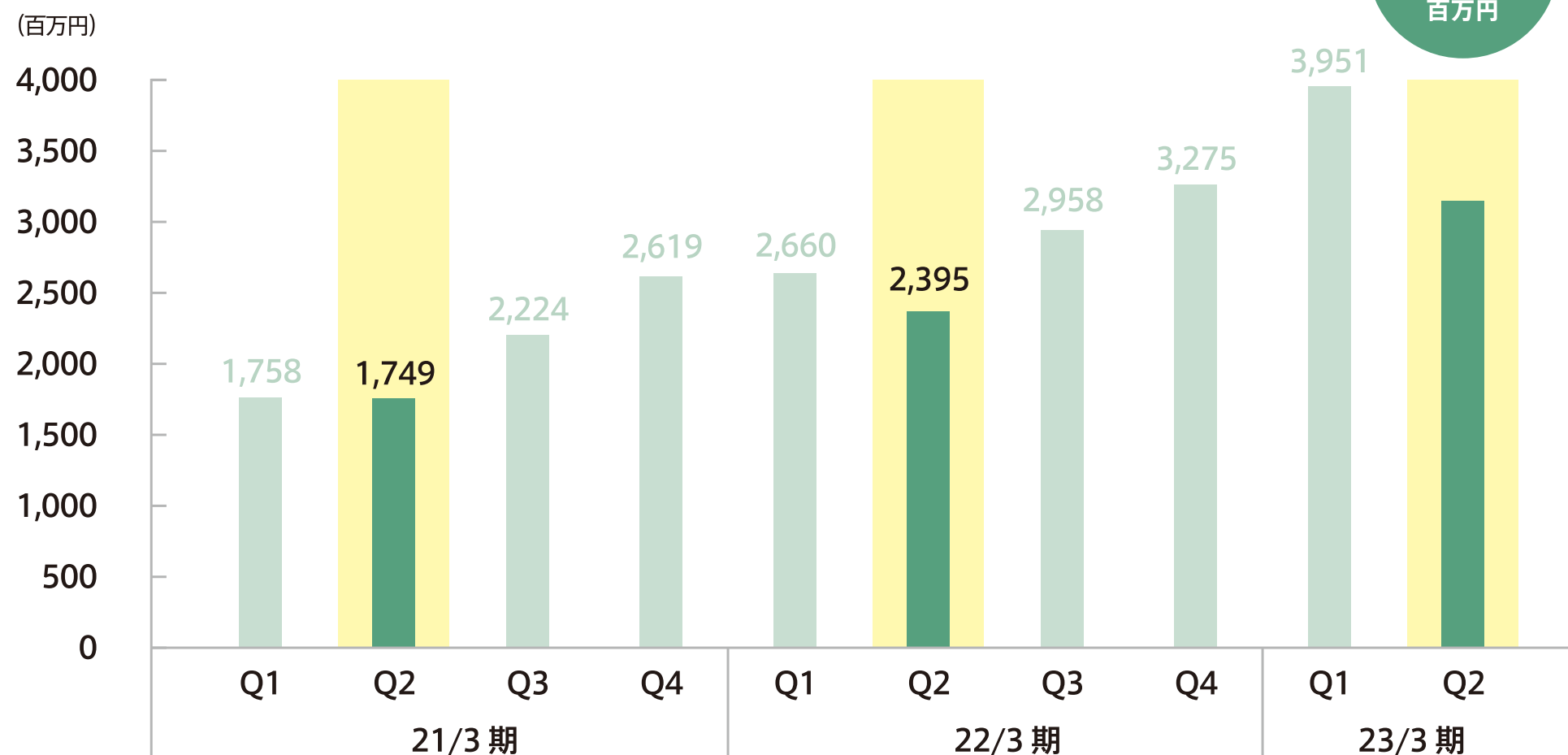


※当社は2023年3月期第1四半期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期まで単体の数値を用いております。



## 受注高推移 (四半期)

四半期受注高(案件やプロジェクトの注文を受けた金額)は30億円を突破し、第2四半期として過去最高を更新

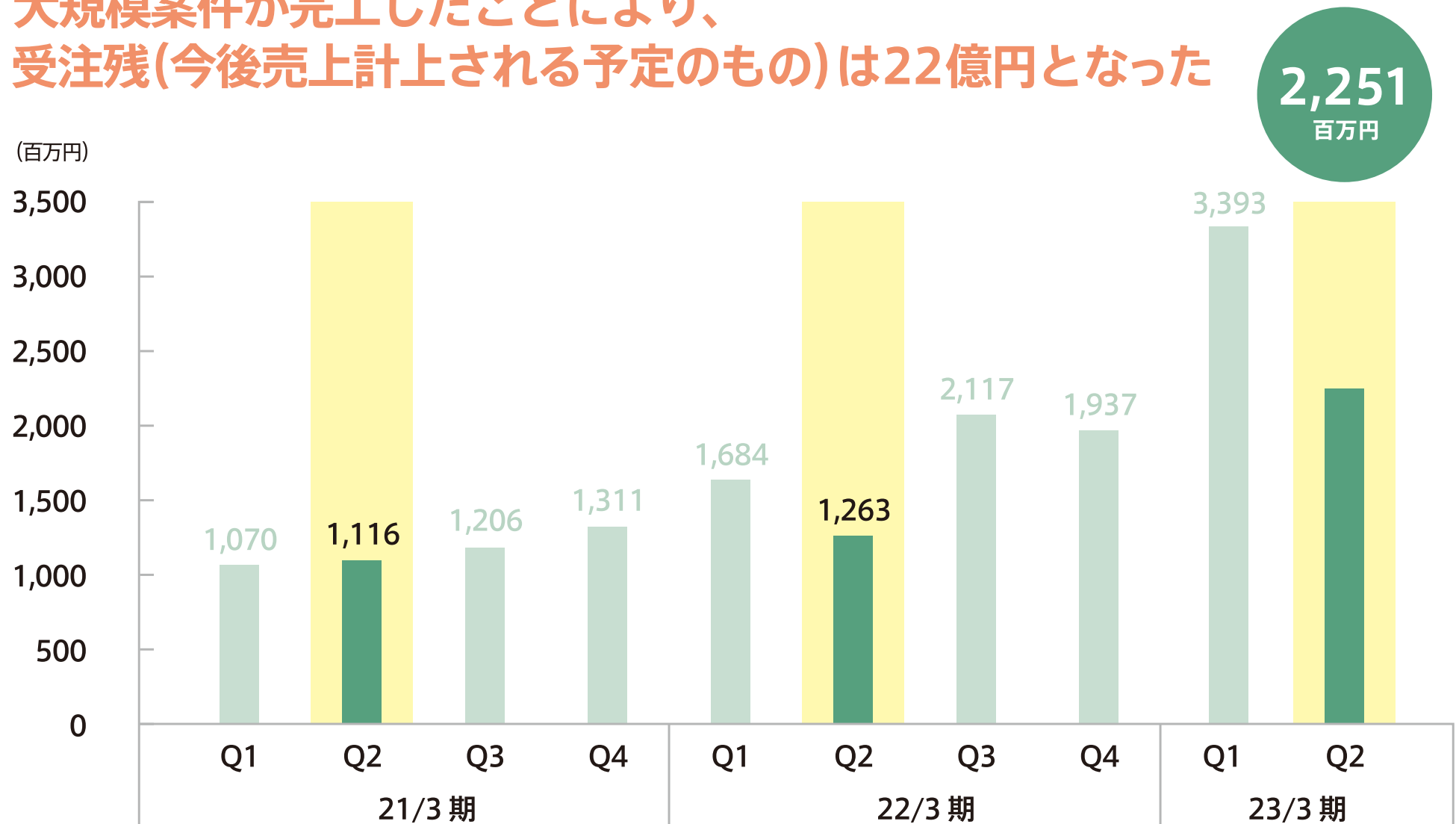


※当社は2023年3月期第1四半期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期まで単体の数値を用いております。

※受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

## 受注残推移 (四半期)

大規模案件が完工したことにより、  
受注残(今後売上計上される予定のもの)は22億円となった



※当社は2023年3月期第1四半期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期まで単体の数値を用いております。  
※受注残には、不動産の賃料収入を含めておりません。

## 2022年上半期 オフィスデザイン実績紹介

### テレワーク中心から出社中心に戻る企業が増加

オフィスのあり方や出社することの意味を再定義する企業が増加。企業ブランドの発信や社員満足度の向上を目的とし、「コミュニケーション」をキーワードにオフィスを構築する企業が多い。

株式会社ドミノ・ピザジャパン



2022年8月移転

エイチ・ツー・オー リテイリング  
株式会社  
株式会社阪急阪神百貨店



2022年8月移転

free 株式会社



2022年8月移転



03

# 成長戦略

GROWTH STRATEGY



## TOPICS

### ●リブランディングの実施

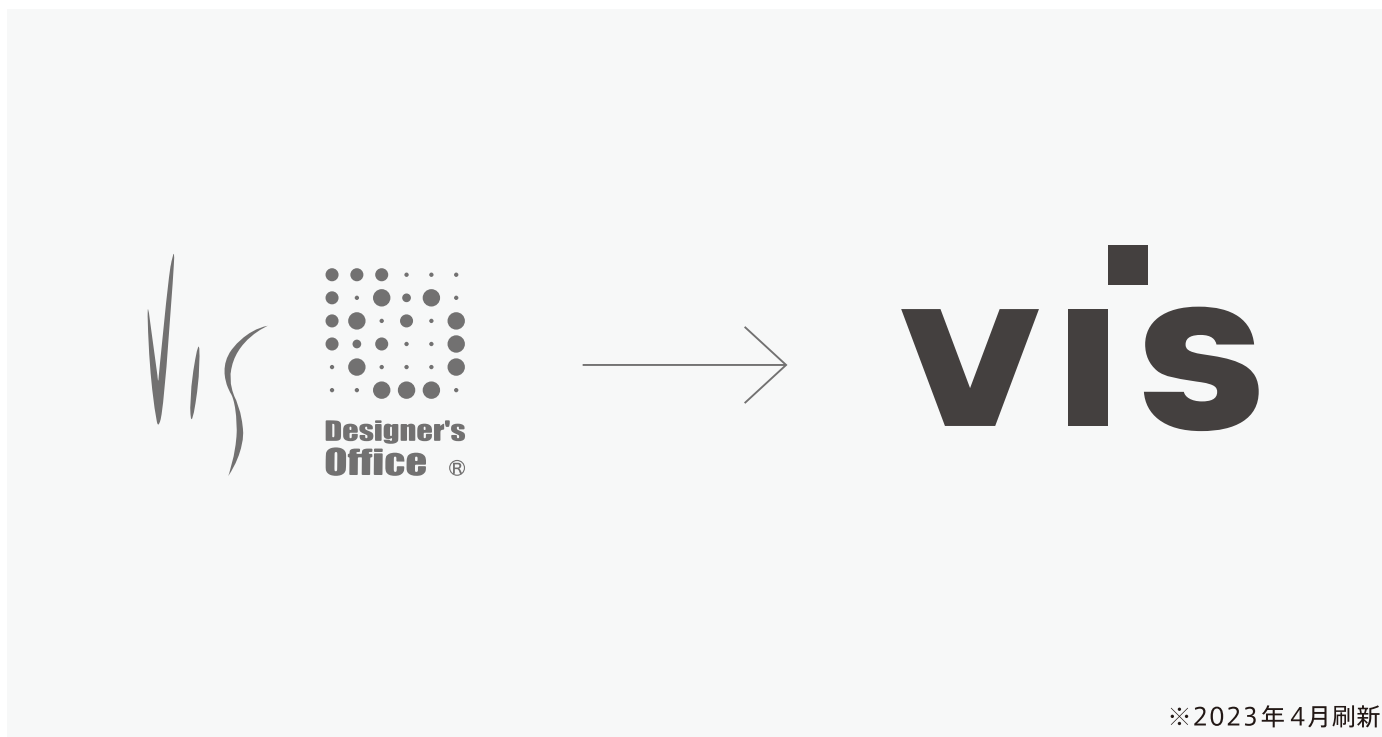
- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

## リブランディングの実施

### リブランディングに伴うフィロソフィー・コーポレートロゴの刷新

デザイナーズオフィスからワークデザインへの事業拡大に伴い、企業理念であるフィロソフィー、コーポレートロゴをリニューアル。新たな価値の提供・継続的な成長を目指し訴求を強化する。

#### コーポレートロゴ



※2023年4月刷新

#### フィロソフィー

##### PURPOSE

存在意義

##### AMBITION

目指すゴール

##### VALUES

価値観

##### CREDO

約束

## TOPICS

- リブランディングの実施
- **社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大**
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

# 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

## これまでのワークプレイス



ABW (Activity Based Working) · 時間や場所を自分で選ぶはたらき方



# 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

## ワークプレイス 4.0 へ

業務効率の向上・企業文化やロイヤルティの醸成など、  
ワークプレイスへのニーズが多様化



多様な価値観への対応  
企業のあり方の表現

オフィスをどのようなデザインにしたいですか？



どのような「はたらき方」をしたいですか？



社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

---

# DESIGNER'S OFFICE から WORK DESIGN COMPANY へ

ビジュアルデザインから「はたらく」のデザインへ



# 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

## WORK DESIGN

「はたらく」に関する企業の課題を一気通貫でサポートし、多様化する「はたらく」の定義を企業ごとにデザイン。



# 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

## ワークデザインのプロセスを定義し、独自性を確立

社会のニーズ、市場環境を鑑みると、これまで以上にデータに基づいたオフィス設計やオフィス入居後の継続的な改善が求められている。

▶ クライアントに対し、「はたらく」をデザインすることのプロセスを「Work Design Methods」として定義。その重要性を示唆しながら、VISの独自性を確立させる。

どのようにはたらくべきか ▶ どのようなオフィスにするか ▶ 継続的な改善と更新

Work Design Methods

1 Programming  
どのようにはたらくべきか

2・3・4 Office Design  
どのようなオフィスにするか

5 Cycle Updating  
継続的な改善と更新

© VIS co. Ltd. All rights reserved.

1 Programming  
定量的なデータと定性的なデータを掛け合わせたデータドリブンなオフィス条件の設定

<p><b>Programming</b> プログラミング</p> <p>空間利用計画 ロケーション分析 広さ算定 WI</p> <p>「wit」を活用した定量的なオフィス分析でこれから目指すべきポイントを明確にします。</p>	<p><b>Research and Analysis</b> 調査・分析</p> <p>WSS(ワークスタイルサーベイ)/ワークショップ</p> <p>定量調査と定性調査を組み合わせ、オフィスのあるべき姿を探ります。</p>	<p><b>Interview and Facility Research</b> 現状把握</p> <p>経営層インタビュー 現オフィス調査 部門別アンケート</p> <p>現状分析などの調査結果に加え、経営ビジョンや部門のリアルな声を掛け合わせプロジェクトの方針を明確化します。</p>
--	---	---

**Detail Design** 実施設計 / コストマネジメント  
 多量な業務要件を整理・特定  
 施工に向けて実施図面の作成、納品物の品質検定を行い、プロジェクト全体の予算や工程を確定します。

**Construction** 施工・現場管理・引渡し  
 現場実務の実際  
 引渡し

**Research and Analysis** 調査・分析  
 WSS(ワークスタイルサーベイ)/ワークショップ

**Layout Change** レイアウト変更 / 実施  
 目標設定、基本設計、実施設計、施工

**Effectiveness Verification** 効果検証  
 WSS(ワークスタイルサーベイ)

工事は法令遵守、安全重視で現場を管理します。竣工後の引き渡し、引継ぎまでスムーズに進めます。

新たな価値を創り出すためのマネジメントを実現、最適な状態を継続します。

VIS co. Ltd. All rights reserved.

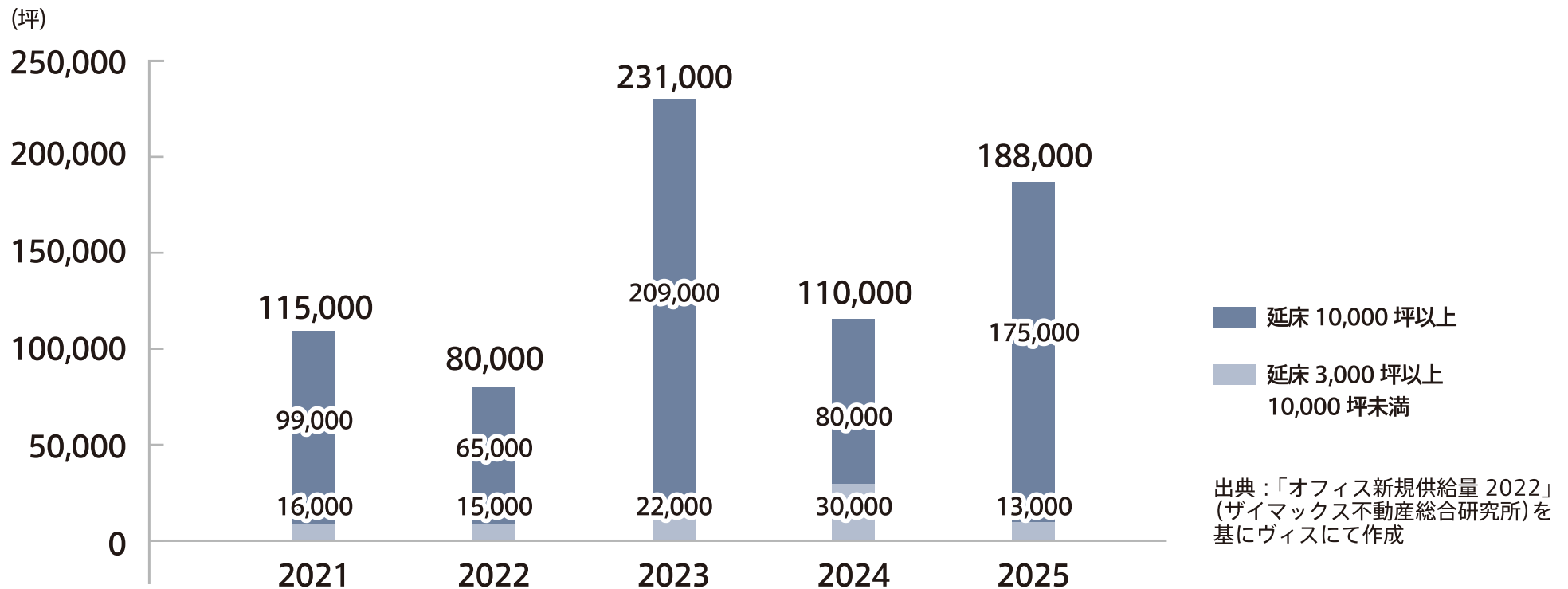


# 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

## オフィスビル供給量拡大に伴う移転の増加

大型オフィスビル完成で、2023年のオフィス新規供給量（東京23区）は大きく増加見込み。新築オフィスビルへの移転に伴い空室が発生し、空室となったオフィスへの移転も連鎖的に発生することが予想される。

[東京23区] オフィス新規供給量

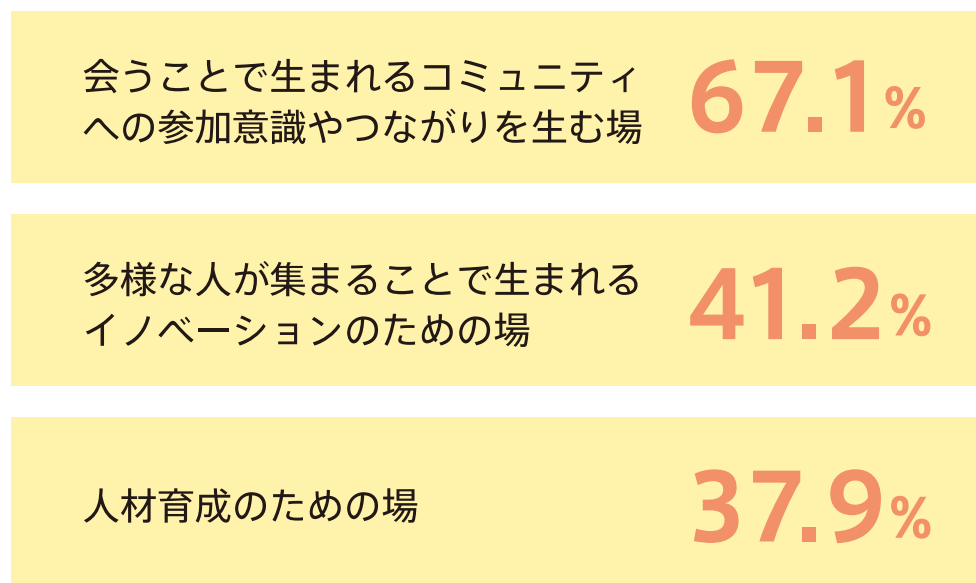


# 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大

## コロナ禍を経て、オフィスのあり方、はたらき方が変化

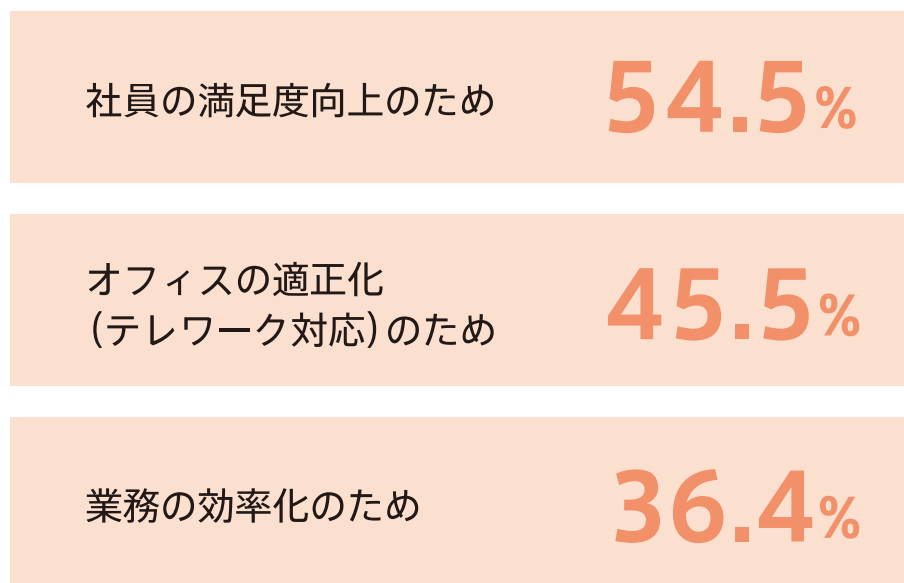
テレワーク・オンラインミーティングの増加等、これまでのオフィスに対する考え、目的が大きく変化。ビジュアルデザインに加えはたらき方をデザインすることが求められている。オフィスの適正化を図りながら、社員満足度向上を目指す企業が増加している。

### 今後のオフィスに求めること



アンケート「緊急事態宣言解除後進んだテレワークの実態とコロナ時代のオフィスのありかたについて」2020年8月実施より n=340

### オフィスや働き方を見直した理由



お客様アンケート 2022年8月実施より n=88

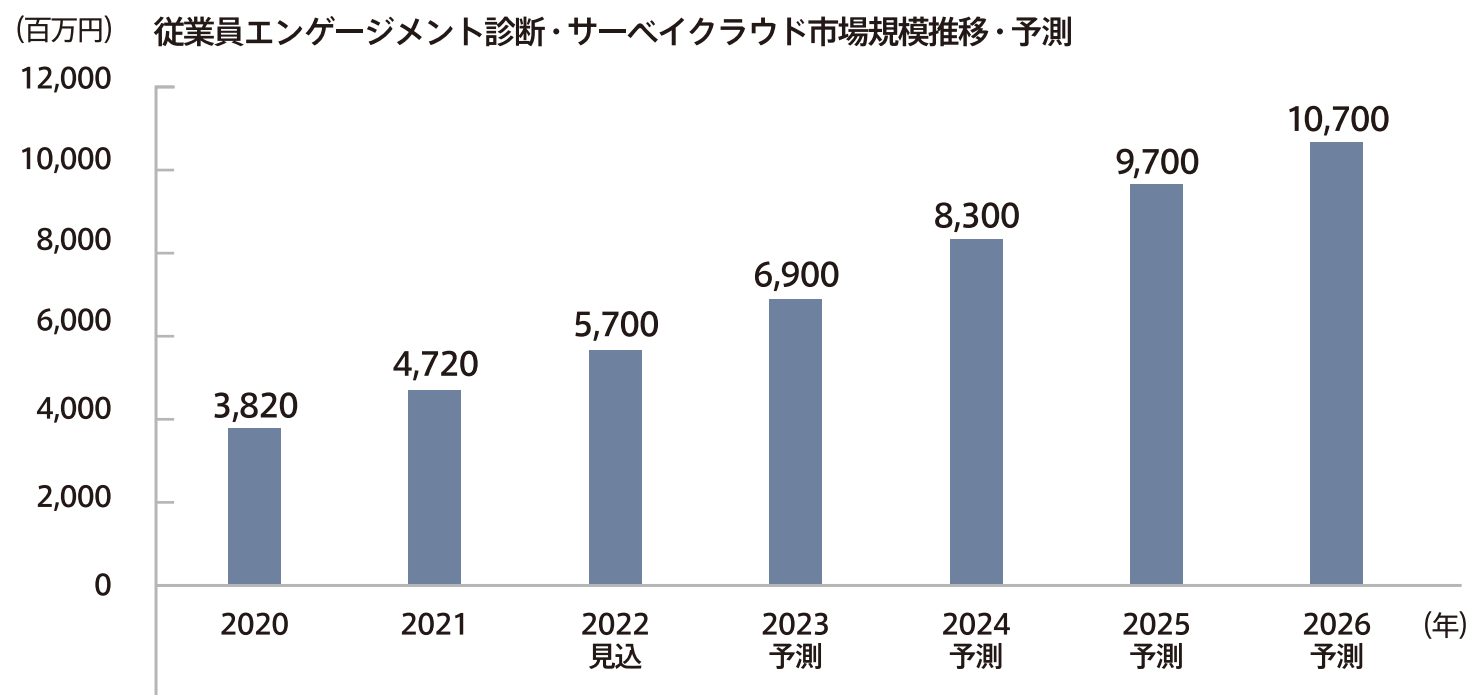
## TOPICS

- リブランディングの実施
- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大**
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

## コンサルティング領域の拡大①

# エンゲージメント市場の拡大と当社ビジネスとのシナジー

コロナ禍でテレワークが浸透したことで社員のエンゲージメント低下が課題となり、企業が社員のエンゲージメントを把握し、改善することの必要性が高まった。2021年4月にリリースした組織改善サーベイ「ココエル」はこの課題に対応することができ、必要性が増すことが予想される。



※クラウドサービス提供事業者売上高ベース ※2022年見込値、2023年以降は予測値  
出典：株式会社矢野経済研究所「従業員エンゲージメント市場に関する調査(2022年)」(2022年8月15日発表)

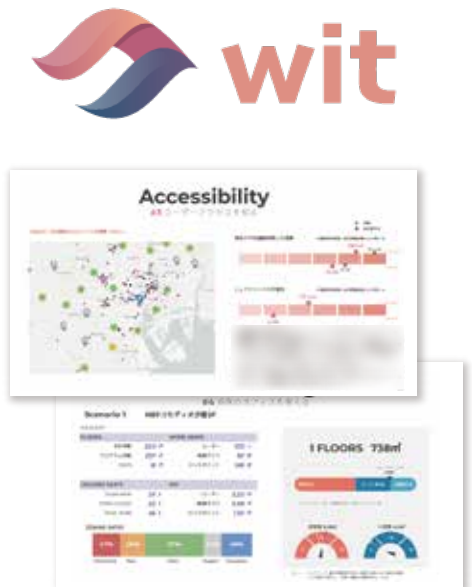
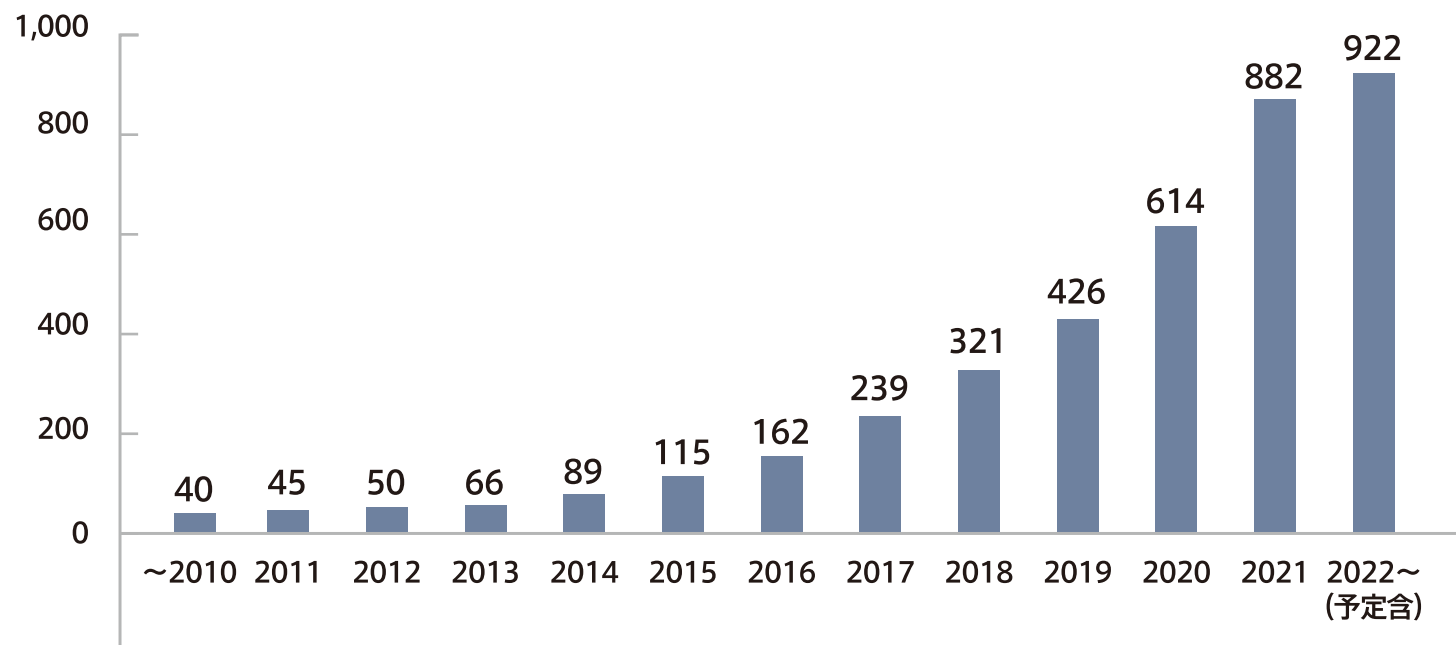


## コンサルティング領域の拡大②

# フレキシブルオフィス市場の拡大とワークプログラミングの重要性

コロナ禍でテレワークが浸透し、シェアオフィス（フレキシブルオフィス）の件数も増加。自社オフィスの適切なエリア、広さ、機能を検証した上で、シェアオフィス活用も考慮したはたらく場の構築「ワークプログラミング」の重要性が高まっている。

(件) フレキシブルオフィス市場調査 2022



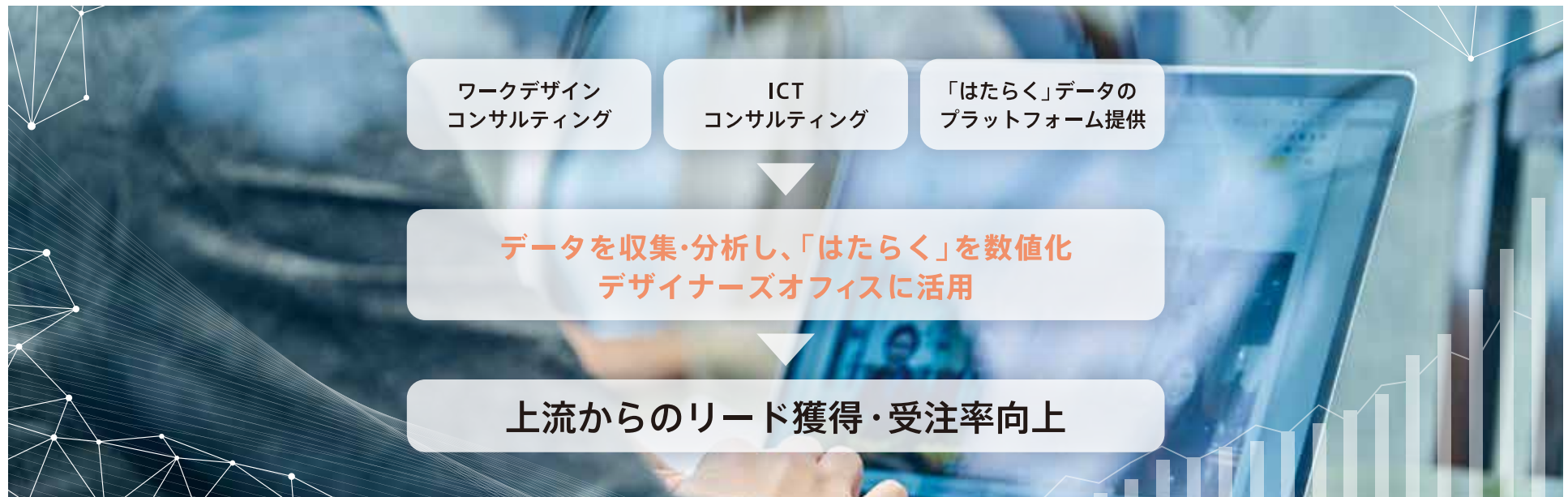
※すでに閉鎖済みの拠点は除く

出典：ザイマックス不動産総合研究所 フレキシブルオフィス市場調査 2022 2022.02.25

## コンサルティング領域の拡大③

### 100%子会社の設立

2022年4月、コンサルティング業務及びワークデザインプラットフォーム開発を専門とする株式会社ワークデザインテクノロジーズを設立。ヴィスの提供するワークデザイン・オフィスデザインの効果をさらに高め、ヴィスグループの更なる拡大・発展を目指す。



## TOPICS

- リブランディングの実施
- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大**
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

## ワークスタイリング領域の拡大①

# 「The Place」のエリア拡大

2021年1月竣工のThe Place Osakaは現在満床となった。また2022年5月、名古屋に自社オフィスと併設するかたちで、シェアオフィス運営を行うThe Place Nagoyaを開設。

## The Place

### 大阪



### 名古屋

ドローン撮影動画▶





## ワークスタイリング領域の拡大②

### 大手デベロッパーとの連携強化

大手デベロッパーが新しく建設するオフィスビルの共用スペースやマンション共用部のコワーキングスペースを設計・デザイン。テレワークやリモートワークにも対応できるはたらく場づくりとして新たな付加価値を提供。

#### BPR レジデンス大阪本町 Q

コワーキングラウンジ  
「SYNTH ビジネスセンターサテライト本町」



事業主：東急不動産株式会社  
マンション内運営・管理：株式会社 SYNTH 設計・デザイン：株式会社ヴィス

#### Vianode SHIN-OSAKA

1階ビジネスラウンジ / 3階シェアオフィス



事業主：大和ハウスリアルティマネジメント株式会社  
企画・運営代行：Reqree 株式会社 設計・デザイン：株式会社ヴィス

## TOPICS

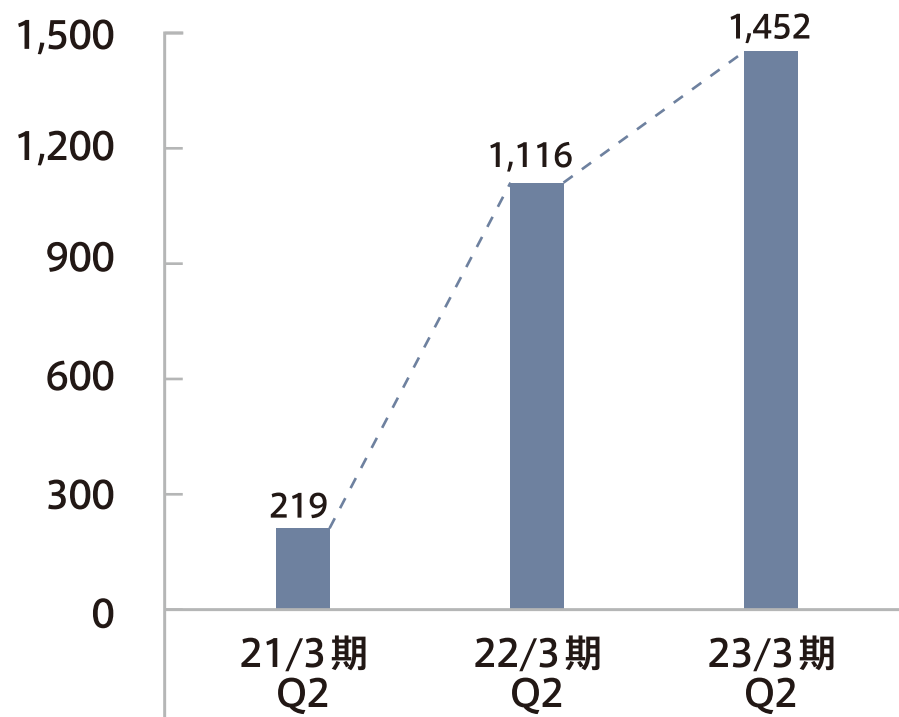
- リブランディングの実施
- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成

## マーケティングの強化①

### マーケティング手法の多角化(潜在顧客へのアプローチ)

マーケティング・セールスの強化に伴いマーケティング手法を多角化。新たな取り組みを通じた新規顧客獲得を推進し、売上の拡大につなげている。

(百万円) マーケティング活動からの売上高 2022年4月～9月累計



#### 新規顧客獲得の主な取り組み

- ・ オンラインセミナー開催
- ・ ダウンロード資料コンテンツの拡充
- ・ オウンドメディア開始
- ・ メールマガジン配信
- ・ 展示会への出展

## マーケティングの強化②

### マーケティング手法の多角化 (情報発信の強化)

はたらき方やはたらく場所に関する情報発信を強化。オウンドメディア「WORK DESIGN JOURNAL」をリリース (2021年9月)したほか、展示会出展やオンラインセミナー開催を通して「はたらく」のトレンド情報を発信している。

#### 「WORK DESIGN JOURNAL」

WEBサイト▶



#### 展示会



#### オンラインセミナー



WORK DESIGN JOURNAL

オフィスデザイン ワークスタイル 組織改善 インタビュー お問い合わせ 資料ダウンロード

ホームページで検索 🔍

オフィスデザイン

こんなオフィス環境は改善が必要！適切な改善方法を解説  
2022.7.29

インタビュー

「育児」と「仕事」を両立する不安と葛藤。ヴィスで実現する「はたらく人々を幸せ...」  
2022.8.30

オフィスデザイン 組織改善

サードプレイスオフィスの導入メリットと導入時のポイントを紹介  
2022.6.30

## TOPICS

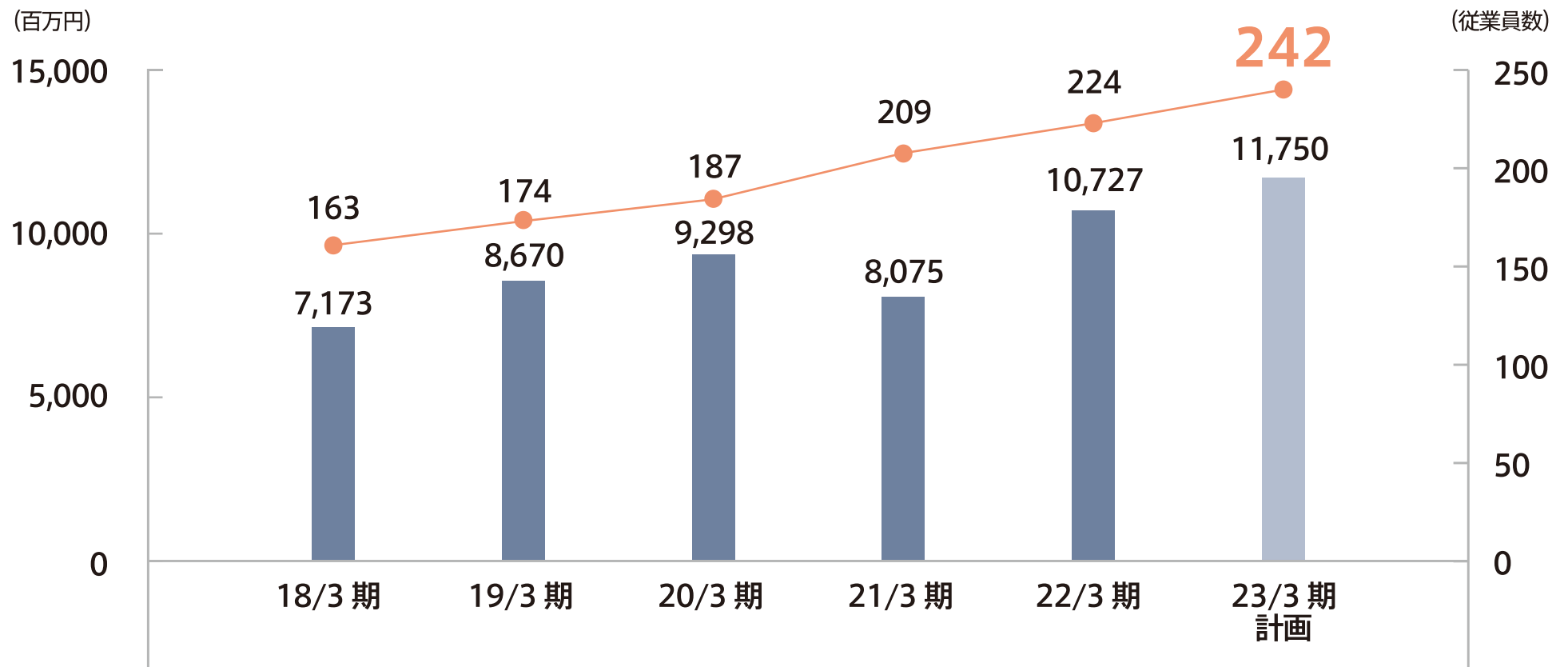
- リブランディングの実施
- 社会の変化がもたらした「はたらき方」の変化からのビジネス領域の拡大
- コンサルティング領域の拡大
- ワークスタイリング領域の拡大
- マーケティングの強化
- 人材の採用・育成



# 人材の採用・育成

## 人員の伸びと売上高が比例

人員が成長ドライバーと捉え、新卒採用からの人材育成に加え、専門性の高いプロフェッショナル人材の採用を継続して行う。



## 人材の採用・育成

### 人材育成のための研修・教育制度

#### ■同じベクトルを持ったメンバーを育成する場と時間を重視

『ひよこミーティング』週4回・30分、代表・役員と新卒1年目の対話（2年目は週1）

『にわとりミーティング』週4回・30分、代表とキャリア入社3ヶ月目までの対話

#### ■教育・研修制度の充実で、成長を支援

『クルーアップ研修』（新卒1-3年目対象）

『ニコイチ』制度（新入社員とメンターとのOJT、相談相手）



2030 年に向けて

# 2030 年 売上高 250 億円

- CONSULTING からの売上拡大と既存事業とのシナジー
- WORK STYLING からの売上拡大
- BRANDING 領域の売上拡大





04

# 2023年3月期連結業績予想

FY2022 OUTLOOK

## 2023年3月期連結業績予想

(百万円)

	22/3期	23/3期予想	前年同期比
売上高	10,727	11,750	109.5%
売上総利益	2,850	3,367	118.1%
営業利益	1,008	1,152	114.3%
経常利益	1,012	1,144	113.1%
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	687	750	109.3%
EPS (円)	84.09	91.53	108.8%
1株当たり配当(円)	17	19	111.8%

※当社は2023年3月期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、前年同期実績は単体の数値を用いております。



05

# 参考資料

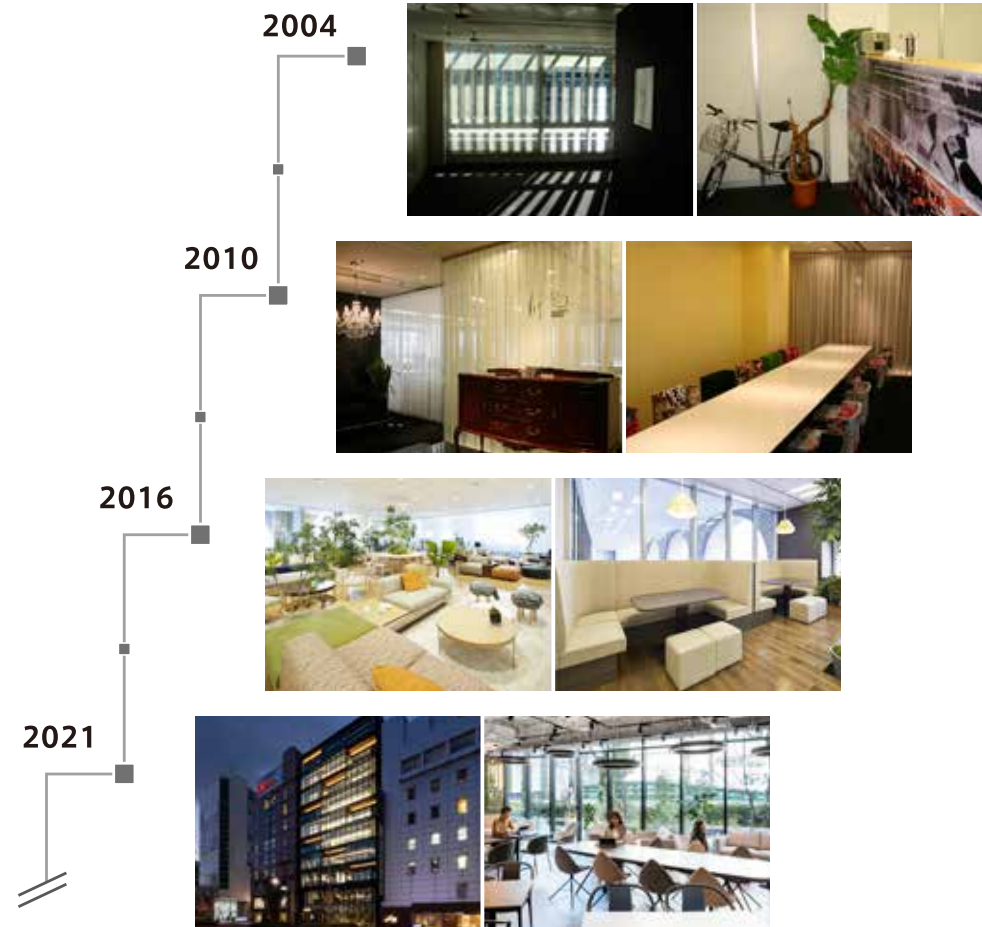
APPENDIX



# 沿革

## デザイナーズオフィス業界のリーディングカンパニー

- 1998.4 ■ 大阪市西区にて設立
- 2004.1 ■ 主たる事業目的をデザイナーズオフィス 事業に変更
- 2004.9 ■ 東京オフィス新設
- 2006.3 ■ 新卒採用開始
- 2008.4 ■ クレド作成
- 2008.8 ■ 名古屋オフィス新設
- 2008.8 ■ 日経ニューオフィス賞 初受賞
- 2011.6 ■ デザイナーズオフィス累計受注件数 1,000 件達成
- 2014.3 ■ デザイナーズオフィス累計受注件数 2,000 件達成
- 2016.3 ■ デザイナーズオフィス累計受注件数 3,000 件達成
- 2017.6 ■ デザイナーズオフィス累計受注件数 4,000 件達成
- 2018.12 ■ デザイナーズオフィス累計受注件数 5,000 件達成
- 2020.3 ■ 東京証券取引所 マザーズ市場上場
- 2020.4 ■ デザイナーズオフィス累計受注件数 6,000 件達成
- 2021.1 ■ VIS ビル「The Place」開設
- 2021.3 ■ 東京証券取引所 市場第二部へ市場変更
- 2022.4 ■ 東京証券取引所 スタンダード市場へ移行
- 2022.4 ■ (株)ワークデザインテクノロジーズ設立
- 2022.5 ■ 「The Place Nagoya」開設



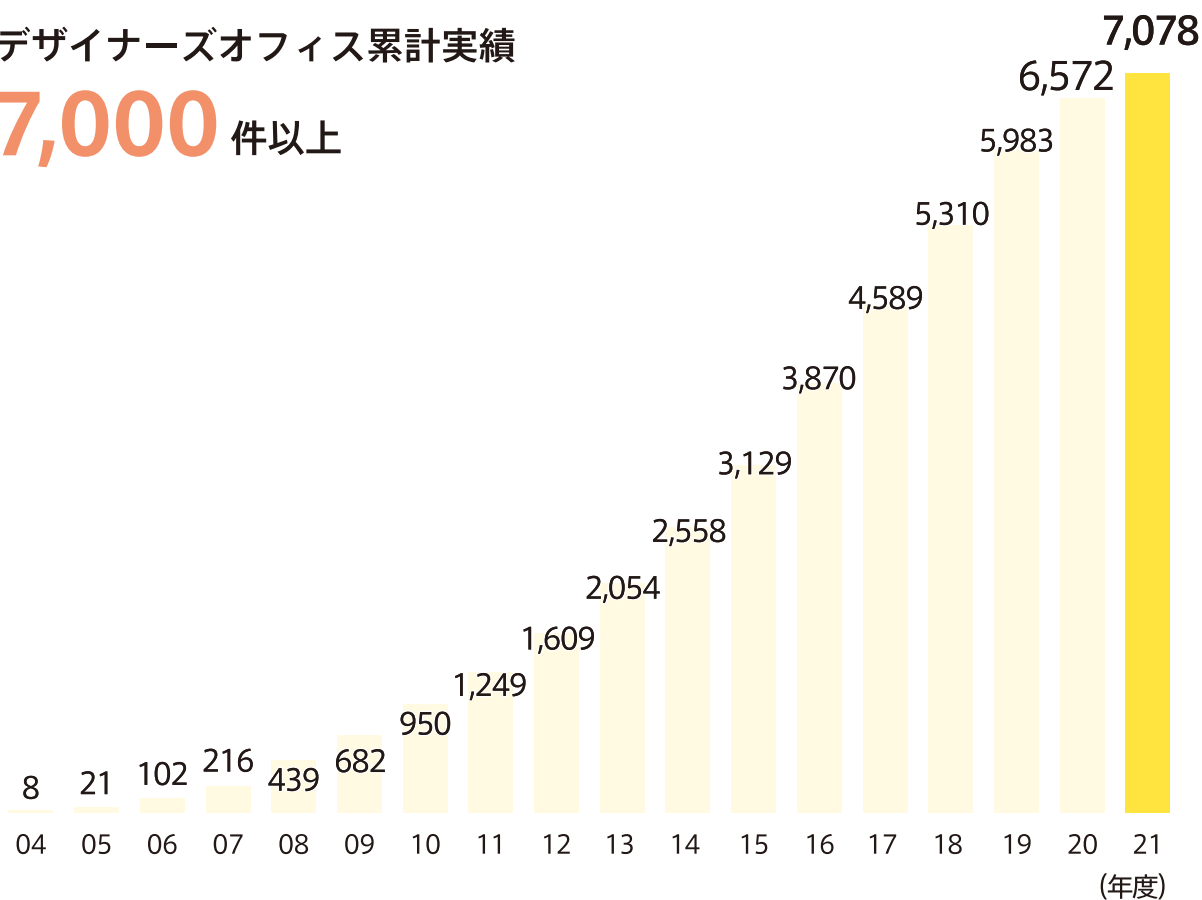
# 実績件数／有資格者数

## 増え続ける実績と専門性の向上

デザイナーズオフィス累計実績 7,000 件以上案件の蓄積が新たな案件獲得へのアドバンテージに。高品質なサービス提供を支える有資格者の採用、資格取得を支援。

デザイナーズオフィス累計実績

**7,000** 件以上



有資格者数 のべ **54** 名

- 一級建築士 …………… 5名
- 二級建築士 …………… 6名
- 1級電気通信工事施工管理技士 …… 1名
- 1級建築施工管理技士 …………… 5名
- 2級建築施工管理技士 …………… 4名
- 第二種電気工事士 …………… 2名
- 宅地建物取引士 …………… 7名
- ファシリティマネジャー …………… 13名
- インテリアコーディネーター …… 10名
- インテリアプランナー …………… 1名

2022年9月末現在

## 受賞歴

日経ニューオフィス賞 **28**件

日本空間デザイン賞 **4**件

➤➤ 計 **32**件



2022 日経ニューオフィス賞  
中部ニューオフィス奨励賞  
株式会社愛幸



2021 日経ニューオフィス賞  
東北ニューオフィス推進賞 <東北経済産業局長賞>  
税理士法人あさひ会計



2021 日経ニューオフィス賞  
中部ニューオフィス奨励賞  
株式会社テスク



2021 日経ニューオフィス賞  
近畿ニューオフィス奨励賞  
カルテック株式会社



2020 日経ニューオフィス賞  
中部ニューオフィス奨励賞  
株式会社プラス



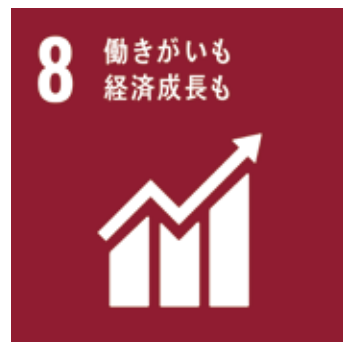
2020 日経ニューオフィス賞  
中部ニューオフィス奨励賞  
株式会社セントラルヨシダ

## SDGs

### ワークエンゲージメント向上への貢献・地球環境面への貢献

持続可能な世界の実現に向け国連が定めた2030年までの国際的な目標であるSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)の理念に共感し、事業活動と社会貢献活動を通じて目標達成に貢献します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





## 注意事項

---

- 本資料は、情報提供のみを目的として作成されるものであり、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買い付けの申込みの勧誘（以下、「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。  
また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。
- 本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない財務諸表又は計算書類に基づく財務情報が含まれています。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

### お問合せ先

株式会社ヴィス

管理本部 | IR担当

MAIL : [ir@vis-produce.com](mailto:ir@vis-produce.com)

URL : <https://vis-produce.com/>